

報道各社御中 環境省広報室

長崎県での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う  
野鳥緊急調査チームによる調査の結果について (H29.1.7 16:00)

長崎県諫早市において12月22日に回収されたハヤブサ1羽から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことを受けて、1月6日(金)~7日(土)に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況や死亡野鳥などの調査を実施しましたので、以下のとおり結果をお知らせします。

1 調査結果

1月6日~1月7日にかけて、長崎県諫早市の発生地点周辺半径10km圏内の野鳥監視重点区域内及びその周辺の、渡り鳥の飛来地等の計26地点(4地点は10キロ圏外)において生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施。野鳥の大量死は認められなかった。

長崎県、佐賀県による調査期間内に野鳥監視重点区域内で検査対象となる死亡個体の回収等の異常はなかった。

(参考)

観察された鳥類 62 種

うち、リスク種1 4種(キンクロハジロ、オシドリ、チュウビ等)

リスク種2 10種(ホシハジロ、スズガモ、マガモ等)

リスク種3 17種(カルガモ、ツクシガモ、トビ等)

\*本調査結果は暫定値です。

\*リスク種とは:「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定

2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、長崎県、佐賀県と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

環境省はホームページで野鳥における高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。( [http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/) )

平成29年1月7日(土)

自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

公用携帯:090-8940-8582

公用携帯:080-2333-6933

公用携帯:080-2163-3236

企画官:東岡 礼治

鳥獣専門官:根上 泰子

九州地方環境事務所野生生物課

直通:096-322-2413

課長:横田 寿男

専門官:中村 陽子

公用携帯:090-5920-8718